#### **Press Release**

2014.7

新潟市美術館

951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9

TEL: 025-223-1622 FAX: 025-228-3051

# アラーキーの心境に触れる写真展。

# 荒木経惟「往生写集-愛ノ旅」開催のお知らせ

(会期: 2014年08月09日(土)~10月05日(日))







新潟市美術館は、2014年08月09日(土)から10月05日(日)までの期間中、企画展「荒木経惟 往生写集-愛ノ旅」を開催いたします。「アラーキー」の名で知られる写真家・荒木経惟(あらき・のぶよし 1940-)。自らの新婚旅行を撮影した初期の代表作『センチメンタルな旅』 (1971)を「私の愛であり、写真家決心」だと宣言して以来、被写体への慈しみに満ちた写真を撮り続けています。

妻・陽子、愛猫・チロ、街と人々、女優、花、空・・・・ それらは、荒木のカメラを通して、赤裸々な姿や内に秘めた物語をさらけ出し、生の輝きと、時には 表裏一体の死の気配をも、私たちに投げかけてきます。荒木と新潟には、浅からぬ縁があります。

1987-88年に頻繁に新潟を訪れ、中心街・古町などを撮影。女優・大竹一重との「旅の情景」をまとめた写真集『冬恋』(1998年刊)でも新潟を舞台に選びました。2012年には「写真に対する強い信念と挑戦者魂にあふれた」生き様によって、第6回安吾賞を受賞しています。

本展のタイトル「往生写集(おうじょうしゃしゅう)」は、荒木の現在の心境を捉えたものです。2000年以降、前立腺癌発症と摘出手術、妻亡き後唯一の家族であった愛猫・チロの死、東京都内で遭遇した東日本大震災の経験などを経て、荒木は、自らの「死=往生」を意識しはじめたといいます。しかし、その写真は「死」の闇や恐怖に支配されてはいません。話題の人物・現場を取材した『アラーキーのニッポン(仮)』(新潟日報ほかで連載中)をはじめ、本展に出品される新作には、時代の空気を呼吸しながら、日常の営みや身近な幸福をいとおしみ、肯定する荒木の姿勢の現在が示されています。妻や愛猫との日々に始まり、虚実取りまぜた新潟への旅、そしてひろやかな人間愛に満ちた最新作に到るまで、荒木の尽きることない「愛ノ旅」をご体験ください。また、会期中はアラーキーの対談や学芸員による解説、ワークショップの開催などさまざな関連イベントを開催いたします。

# 荒木経惟 「往生写集ー愛ノ旅」 会期: 2014年08月09日(土)~10月05日(日)

開館時間:午前9時30分~午後6時

休館日:毎週月曜日(祝日又は振替休日の場合は、その翌日)祝日又は

振替休日の翌日(日曜日にあたる場合は火曜日))

会 場:新潟市立美術館(新潟市中央区西大畑町5191-9)

電 話:025-223-1622

新潟市美術館外観▶



《本リリースに関するお問い合わせ》

取材依頼、画像貸し出し、ご不明点などございましたらお気軽にお問い合わせくださいませ。

PR 担当 株式会社 Casokdo 五十嵐 洋

住 所:〒141-0033 東京都品川区西品川1丁目6番4号

E-mail:igarashi@a-ms2.com TEL:03-5436-7636 携帯:090-1761-1417 FAX:03-5436-7637

※ 上記プレスリリースのほか、さまざまな最新情報はこちらからご覧いただけます。>> http://a-ms2.com/press/

# Press Release 2014.7

新潟市美術館

951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9

TEL: 025-223-1622 FAX: 025-228-3051

## 作品紹介 (一部)



▲「センチメンタルな旅」1971年



▲「センチメンタルな旅」1971年



▲「冬の旅」1990年



▲「堕楽園」2011年



▲「新潟エレジー」1988 年



▲「新潟エレジー」1988 年



▲「アラーキーのニッポン、のいま」2013年



▲「アラーキーのニッポン、のいま」2013年



▲「去年の戦後」2013年

《本リリースに関するお問い合わせ》

取材依頼、画像貸し出し、ご不明点などございましたらお気軽にお問い合わせくださいませ。

PR 担当 株式会社 Casokdo 五十嵐 洋

住 所:〒141-0033 東京都品川区西品川1丁目6番4号

E-mail:igarashi@a-ms2.com TEL:03-5436-7636 携帯:090-1761-1417 FAX:03-5436-7637

※ 上記プレスリリースのほか、さまざまな最新情報はこちらからご覧いただけます。>> http://a-ms2.com/press/

### **Press Release**

2014.7

新潟市美術館

951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9

TEL: 025-223-1622 FAX: 025-228-3051

## 関連イベントのご案内



▲「愛のバルコニー」1982年

# ①「アラーキーの奇想対談」

荒木経惟氏(写真家)×辻惟雄氏(美術史家、MIHOMUSEUM館長) 9月7日(日) 午後2時~午後3時30分 メディアシップ日報ホールにて

参加無料、要申込み、定員280名 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

★申込締切8月20日(水)

## ②学芸員による解説会

8月17日(日)、9月14日(日) いずれも午後2時~(30分程度) 当館2 F講堂にて、参加無料、定員100名、事前申込不要

#### ③美術講座

当館学芸員が写真表現についてお話しします。

8月30日(土) 「心霊写真の歴史」 担当学芸員:藤井素彦 9月20日(土) 「1970年代日本の写真」 担当学芸員:松沢寿重 各日 午後1時30分~(90分程度)

当館2F講堂にて、参加無料、定員100名、事前申込不要

# ④ ワークショップ「光の採集~ピンホール写真を体験しよう~」

散策しながら光を採集するように、ピンホール写真を体験しませんか? 空き箱を使ったピンホールカメラを手作りし、美術館内外や周辺を 撮影します。印画紙を用いた撮影・現像から作品鑑賞会まで。カメラ と写真の原点をたのしむ2日連続のプログラムです。

講師:高橋悠氏、高橋香苗氏(デザイナー・美術家) 8月23日(土)・24日(日) 両日午前10時~午後4時

対象:小学校3年生以上~ 参加費:ひとり1000円

要申込み、定員:20名 ★申込み締め切り 8月11日(月)

### 映画上映会

「アラキメンタリ」(トラヴィス・クローゼ監督、2005年、75分) [荒木経惟出演]

「愛の新世界」(高橋伴明監督、鈴木砂羽主演、1994年、115分) [荒木経惟原作、出演(写真家役)]

期間:9月6日(土)~9月12日(金)

荒木経惟関連映画を、7日間にわたりシネ・ウインドにて上映します。 詳しい上映スケジュールは、決定次第、美術館とシネ・ウインドのホームページ等でご案内します。

※有料上映です。

※同時開催の「コレクション展Ⅲ 牛腸茂雄」の関連映画もあわせて 上映いたします。

### ①・④の申込方法

- ●往復はがきに「参加者全員の氏名、住所、電話番号、人数、学年(高校生までの方)、【対談希望】か【ピンホールカメラ希望】」をご記入のうえ、新潟市美術館までお送りください。
- ●一通につき、①2名様まで、④4名様までご応募いただけます。
- ●応募多数の場合は抽選となります。
- ●それぞれ申込み締め切り日から3日以内に、ご参加の可否を返送 します。

《本リリースに関するお問い合わせ》

取材依頼、画像貸し出し、ご不明点などございましたらお気軽にお問い合わせくださいませ。

PR 担当 株式会社 Casokdo 五十嵐 洋

住 所:〒141-0033 東京都品川区西品川1丁目6番4号

E-mail:igarashi@a-ms2.com TEL:03-5436-7636 携帯:090-1761-1417 FAX:03-5436-7637

※上記プレスリリースのほか、さまざまな最新情報はこちらからご覧いただけます。>> http://a-ms2.com/press/